

## 第2回 長良川流域新五流総地域委員会 議事概要

長良川流域新五流総地域委員会事務局

日時：平成25年11月28日（木）14:00～16:00

場所：ふれあい福寿会館第2棟 4F 4-2 会議室

### 1. 議事

○「長良川流域における総合的な治水対策プラン」の改定について

(1) 個別河川の補足説明について

(2) 河川構造物の長寿命化・耐震化について

○今後の進め方について

### 2. 議事要旨

○長良川流域における総合的な治水プランの改定について

議事(1)、(2)の項目の内容について事務局から説明があり、質疑がなされた。各項目について交わされた質疑応答の主な内容は以下の通りである。

(1) 個別河川の補足説明について

・資料2に記載の余取川の改修について、下流部で曾代用水と余取川が立体交差しているが、どのように改修していくのか。

→目標は、1/5の流下能力を確保するよう、国道156号と曾代用水は現況のまま縦断線形を変えず、河道計画を立案中である。長期目標として1/30の治水安全度の確保を目指しており、達成のために、今後抜本的な改築が必要と考えている。

・資料1の参考図で挙げられている箇所は、あくまでも河川改修を行う箇所にとらえてよいか。

→箇所については、河川改修等治水対策を行う箇所を挙げたものである。

・資料3について、凡例①、②、③の判断基準はあるのか。

→昨年度、国の基準に従って緊急点検を実施している。点検箇所は重要水防箇所及び平成24年度の出水後、職員が現地を確認点検し重要水防箇所の指定要件と同程度の箇所も計上している。①については、重要水防区間や旧河川の河道であった所、②については、ボトルネックなど流下能力の低い箇所、③について水衝部などにおいて洗掘の恐れのある箇所等について現地を見て判断している。

・資料2に掲載の河川については、前回掲載されていない河川という解釈でよいか。

→そうです。

・資料3について、河川堤防の緊急点検結果について堤防の浸水に対する安全性が低いとは、どのように判断したのか。

→緊急の点検ということで、全ての河川について浸透解析を行ったわけではない。重要水防箇所の他に、平成24年度の洪水時に堤防から漏水があった箇所や過去に漏水があった箇所を堤防の浸透に対する安全が低いと判断した。

(2) 河川構造物の長寿命化・耐震化について

- ・長寿命化に関する各施設のデータについて、将来的には全体的にデータをまとめて対策実施について判断しなくてはならないと思うが、それをどう引用するか。台帳みたいなもので検索したらすぐ出てくるようにするのか。データの整理の仕方を考えておかないと後で問題が出てくる。そのアウトプットの仕方を検討していただきたい。  
→施設を点検して、データを蓄積していくことは、今後非常に大切になるので、今後検討する。
- ・参考資料に記載の中川逆水樋門について、H24 度から耐震化にとりかかり、H25 年度に完了予定とあるが、これにより指摘されている健全度の問題が全て完了するということでしょうか。  
→対策実施部材については、耐震性・健全度の向上を図るとして実施しています。
- ・参考資料に記載の上戸排水機場について、上屋の耐震性についても点検しているのか。  
→点検している。

○今後の進め方について

事務局より今後の進め方を説明、特に質疑は無し。